



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第4号

令和2年6月10日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休校期間が続いていましたが、少しずつ収束傾向に向かっている中、段階的に学校が再開されました。6月9日（火）に当初より2か月遅れの入学式が行われ、182名の新入生を迎えました。

◆入学式 校長式辞◆

初夏の晴れ晴れとした青空が美しい季節となりました。

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

今年も、新型コロナウイルス感染症対策で緊急事態宣言が発令され、学校も休校期間が続きました。4月に入っても収束が見られず、入学式も延期を余儀なくされ、自宅学習の日々が続きました。しかし、ようやく新規感染者も減少傾向になり、6月より段階的に学校再開の運びとなりました。

先週より皆さんは、大きな期待と不安を胸に、貝塚中学校の校門をくぐられたことと思います。

学校が始まり、新しい友達ができるかな、どの部活に入ろうかな、授業は難しくないのかな、先輩は優しいかな

皆さん、安心してください。入学式には参列していませんが、2、3年生たちは、とても素晴らしい先輩達で、千葉市のどこに連れて行っても恥ずかしくない誇れる先輩達です。わからないことがあれば、優しく教えてくれるとともに、皆さんの手本となってくれることと思います。

また、右に座っている先生達は、情熱と愛情に溢れ、皆さんを常に陰から支え続けてくれます。

さて、中学校時代を花にたとえるとそれは「つぼみ」のようなものであると思います。その「つぼみ」が立派に生長して花が咲き、実が結んで見事な果実になるには、肥料を施したり、草をとったり、日あたりをよくしたりと様々な手立てを講じる必要があります。

これと同じように中学生が立派に生長していくためには、部活動やその他の活動で心と体を鍛え、強い心身の持ち主になると同時に、国際社会に生きる日本人としてより豊かな教養を身に付け、学習により一層努力しなければなりません。私は、この貝塚中学校で、立派な大人になるためにしっかりと力を蓄えてもらえればと思っております。ぜひ、この言葉を胸に、様々なことにチャレンジし、皆さん一人一人が充実した中学校生活を送ってくれることを期待しています。

保護者の皆様方、遅くなりましたが、本日はお子様のご入学、おめでとうございます。大切なお子様を責任もってお預かりいたします。我々、教職員一同、全力で本校の教育活動に取り組んでまいりますので、何卒、ご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

以上で、甚だ簡単ではございますが、校長式辞とさせていただきます。

令和2年6月9日

千葉市立貝塚中学校 校長 北島 啓行



182名の新入生を代表して、代表生徒が立派に新入生誓いの言葉を述べました。その誓いの言葉を紹介します。

◆新入生代表 誓いの言葉◆

木々の緑の美しさを一層感じられる今日の良き日に、私たちは貝塚中学校の入学式を迎えることができました。校長先生や諸先生方、地域の皆様、本日は私たちを温かく迎え、多くの励ましの言葉をいただき、本当にありがとうございます。皆様に見守られ、新しい一歩を踏み出す私たちは、中学校生活への期待で胸がいっぱいです。小学校で私たちは、より良い学校生活が送れるように、みんなで意見を出し合い、その意見をまとめて学校生活に生かしてきました。

中学校では、新しい教科を学びます。そして、教科ごとに異なる先生方に教えていただきます。学習では目標をもち、よく考え、進んで取り組んでいこうと思います。また、貝塚中学校は、合唱コンクールや体育祭、生徒会活動、部活動などがとても盛んだと伺いました。特に部活動では、自分の好きな部活動に入り、3年間充実した時間を過ごしたいです。新しい先生方や友達、頼りになる先輩方との出会い、そしてこれから待ち受ける中学校生活には希望が満ち溢れています。もちろん、つらく、くじけそうになる時もあると思います。その時は、皆様からいただいた励ましの言葉や今のこの気持ちを思い出し、先生方、先輩方、地域の方々、保護者の皆様に力をお借りして、一つ一つ乗り越えていきたいです。

私たち新入生は、貝塚中学校の生徒としての誇りをもち、実りある中学校生活を送ることを今ここに誓います。

令和2年6月9日

新入生代表 ○○ ○○



<新入生代表 誓いの言葉>



<在校生歓迎の言葉>